

【島のくらしの情報】

松島

<p>①仕事（収入）の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・島では高齢化率が高く（48.7% ※H28.8末現在）漁業・農業の後継者不足は深刻です。 ・Uターン等により本島で漁業経営を目指す方には生活支援や漁船のリースなどがあります。 ●お問い合わせ：水産課（電話0959-37-0066）
<p>②住居の状況（貸家、空き家など）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・島内には市営住宅（7戸）が整備されています。また、空き家もあり、家主との交渉も可能です。 ●お問い合わせ：住宅建築課（市営住宅のこと：電話0959-37-0021） 政策企画課（空き家のこと：電話0959-37-0063）
<p>③医療環境の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・島には市営の診療所があり、医師1人・看護師2人の常勤で島人の健康を守っています。 ・急患は県のドクターヘリで本土の病院に搬送しています。 ・妊産婦は本土の施設での検診・出産となりますが、妊産婦の方の負担軽減のため海上運賃、宿泊費などの補助も行っています。 ●お問い合わせ：健康ほけん課（電話0959-37-0067） こども課（電話0959-37-0029）
<p>④福祉環境の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・老人福祉施設が1ヶ所あり、デイサービスを提供しています。 ・このほか、島外事業者の在宅介護サービスも利用できます。なお、市では島外事業者の訪問介護に際し、事業者の海上運賃に係る費用の一部を補助しています。 ●お問い合わせ：長寿介護課（電話0959-37-0024）
<p>⑤教育環境の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・島には小学校・中学校・高校もなく本土側へ市営船で通学していますが、市からの通学支援事業による補助があります。 ●お問い合わせ：学校教育課（電話0959-37-0078）
<p>⑥上下水道・電気・ガスの状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・島内の水道利用状況（普及率）は100%です。 ・し尿処理は、約38%が水洗化、残りを汲み取りにて対応しています。 ・ガスはプロパンです。（ガス業者2社で対応） ・電気は九州電力が供給しています。

⑦本土との交通手段（費用、時間、便数など）	<p>【航路】 瀬戸港（長崎県西海市大瀬戸町）から市営船「New松島」が1日15往復、所要時間10分程度で片道200円です。その他、民間フェリー会社が2社（江崎海陸運送と西海沿岸商船）あり、それぞれ9往復、3往復航行しています。また、佐世保港から高速船(50分、片道1,100円)も2便航行しており、島民の貴重な足となっています。</p>
⑧島内の交通手段（費用、便数など）	<p>【島内交通】 バス：市営船に準じたアクセスになっています。20分程度で島内を一周します。（大人片道140円程度）</p>
⑨買い物場所・物価の状況	<p>【買い物場所】 個人商店5店舗、焼き鳥屋1店舗があります。なお、移動スーパーが週4回ほど販売しております。</p> <p>【物価例】 2017年6月の価格 米（新潟産コシヒカリ5kg）3,000円（税込）、ガソリン（1L）135円（税抜）</p>
⑩これまでの移住実績	<p>・直近4年間で、島出身者19人がU・Iターン（Uターン11名、Iターン8名）しました。←H28情報</p>
⑪移住を希望される方の短期滞在、下見に対する支援の状況	<p>・移住相談員による移住サポート 移住相談員が移住に関してサポートいたします。お気軽にお問い合わせください。</p>
⑫移住にあたっての支援の状況	<p>・空き家情報バンク制度 移住する際に必要となる住宅を空き家情報バンク制度を活用して、ご紹介いたします。</p> <p>・空き家改修費用の補助 空き家改修費用の補助をいたします。（条件等あり）</p>
⑬そのほか島での暮らしぶりについて伝えておくべき必要な情報	<p>・島で暮らすためには、仕事も必要ですが、有り余る時間を島の自然を利用して有効に活用することが大切です。碧く美しい海で遊び（魚釣り、ボート、シーカヤック、水上スキー）、緑深き山々の休耕地を開き、食物を育て、そして、各種地域行事（ボランティア活動）等を通じて島に溶け込んでいきます。</p>